

INFORMATION Book

中央公民館
図書室から
お知らせです

ほん 大好き



中央公民館図書室 ☎42局7200番

今月新しく入りました。

●一般の本

／下町ロケット (作=池井戸潤) / 蠅の帝国 軍医たちの黙示録 (作=帚木蓬生) / 聖なる怪物たち (作=河原れん) / 白樫の樹の下で (作=青山文平) / 白馬に乗られた王子様 (石岡琉衣) / ゴーストハント1、2 (作=小野不由美) / すぐそこのたからもの (作=よしもとばなな)

●子どもの本

／おふろやさん (作=西村繁男) / ちいさいしょうぼうじどうしゃ (作=ロイス・レンスキ) / おだんごころころ (作=大川悦生) / はちうえはぼくにまかせて (作=ジーン・ジオン) / ピーターのいす (作=エズラ・ジャック・キーツ) / ロッタちゃんとしてんしゃ (作=リンドグレーン)

中でもこの本が **オススメ**です。

いとま申して『童話』の人びと

作=北村 薫



若者たちの思いが集められた雑誌「童話」には、金子みすゞ、淀川長治と並んで父の名が記されていた…。大正末期、旧制中学に通う少年は創作への夢を抱き、児童文学の現場で活躍する若者たちと親交を持つ。創作と投稿に夢を追う青春、父の遺した日記が語る“時代”の物語。文化薫る著者の父の評伝風小説。

しんせつなともだち

作=ファン・イーチュン



食べるものがない雪のある日。子うさぎは食べものをさがしに出かけ、かぶをみつけます。1つのかぶが子うさぎからろばへ、ろばからやぎへと、ともだちへの思いやりの心をのせて届けられていきます。そしてかぶは…。



あなたがいる場所

作=沢木耕太郎

9つの物語からなる短編小説です。小さな女の子と小学生の男の子の出会い、嘘の中にも真実があるのではないかと気づく少年。娘を亡くした父親と、知らぬ子どもを助けたときに片腕を失った男の思い。夫を介護から死に至らしめた60代女

性の、自分と夫との過去への葛藤や悔いを残す心等々。主人公たちは、どこにも居場所がない様な思いに苛まれている。それぞれに居場所を求めても、結局は不条理に満ちた日常から離れられず、そんな毎日が自分たちの居場所なのかもしれませぬ。



かげふみあそび

作=武鹿悦子

おばあさんの看病に行つたかあさん。おばあさんのお月さまが見守つてくれる。影ぼうしの変化に気づき喜ぶチャ

コと、森の仲間のかげふみあそび。白黒の表現豊かな絵とお月さまの優しい光に、思わず飛び入りしたくなるような心温まる絵本です。

春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちがだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」。9月は「絆」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は山内博子さん(鞍手町文庫連絡会)です。



／9月の休館日は、7日(水)です

／開館時間は午前9時から午後5時まで／返却期限が過ぎている本は、至急ご返却ください

Dr. 仲野の

調子はいかが？

町立病院 ☎42局1231番

町立病院スタッフ
からの健康
アドバイスです



痔に悩んでいます。恥ずかしくて治療の踏ん切りがつきません。
(38歳・男性)

痔には「痔核(いぼ痔)」「裂肛(切れ痔)」「痔ろう(あな痔)」の3タイプに分けられます。最も多いのが「痔核」で患者さんの5/6割を占めます。残りが肛門が切れる「裂肛」や細菌による炎症によって膿を出すろう管ができる「痔ろう」になります。

【えっ、肛門のところにイボが…】痔核(いぼ痔)は、内側の粘膜にできるものを「内痔核」、外側の皮膚にできるものを「外痔核」と呼びます。痔の中で最も多いのは内痔核です。

内痔核とは、肛門の粘膜の下にある血管が、便秘などによる排便時の「いきみ」や長時間座りっぱなし、立ちっぱなしの姿勢を続けることで肛門への負担が重なると、うっ

血してふくれあがったり、それをささえる組織が弱くなつて肛門の外へ飛び出した状態です。また、粘膜が傷ついて排便時に出血を伴うこともあります。

◆内痔核の症状と程度

程度	症 状
①度	排便時に出血するが痛みはない。
②度	排便したときに痔核が肛門から飛び出す、排便後は自然に戻る。痛みはないが、残便感や出血を伴うことがある。
③度	排便時に痔核が肛門から飛び出し、指で押し込まないと戻らない。お腹に力を入れた弾みで、痔核が外に飛び出すようになる。
④度	排便に関係なく痔核が常に脱出したままで、肛門内に戻らない。粘液や便で下着が汚れることもある。

【切らずに直す治療最前線】

痔の治療の基本は『薬物療法』です。痔の治療は手術ではありません。「痔は切らなければ治らない」というのは誤解です。①度や②度の軽度の痔核なら、便秘薬や外用薬の使用と食物繊維や水分をしっかりと取るなどの生活習慣の改善で、症状を和らげることもできます。

出血がひどかったり③度以上になると『注射療法』や『切除手術』を行います。注射療法の場合、当院では硬化療法(ジオン注)を行っています。内痔核に硬化剤を注入して痔核に流れる血液の量を減らし、痔を硬くして、粘膜を癒着・固定する治療法です。痛みを感じない粘膜部分に注射します。出血や痛みはほとんどありません。治療は15分程度

で終わり、1泊2日の短期入院で済みます。痔の進行が進みひどくなった場合は、痔の部分を取り取る『切除手術』を行います。これは確実な方法ですが、1週間ほどの入院が必要です。

【痔かな? 『がん』かな?】

痔ともっとも間違いやすい病気に直腸がんがあります。一般的に痔は鮮血でがんやポリープなどの場合は黒っぽい血ですが、直腸から出血した場合、血は明るい赤色をしているため痔と間違いやすいのです。出血などの症状には、痔ではなく、もっと重い病気のサインが隠されていることもあります。「あやしい」と思ったら、恥ずかしながら、迷わずかかりつけの医師や専門医に相談しましょう。



【アドバイザー】

仲野 秀さん・なかのしゅう 昭和61年産業医科大学医学部を卒業後、東北労災病院や産業医科大学病院、門司労災病院、北九州市立戸畑病院勤務を経て、平成14年4月から町立病院外科に勤務。日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、検診マンモグラフィ読影認定医。50歳。

痔は、痔核、裂肛、痔ろうの3タイプに分かれます。どのタイプかによって治療法も異なります。恥ずかしながらにまずは専門医に相談しましょう。